

2.目標達成計画

事業所名 グループホーム 花音

作成日: 平成 21年 8月 10日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】				
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容 目標達成に要する期間
1	23	経過記録の充実。	個別計画を把握した記録が行えるように記録用紙を改良する。	個別計画内容を理解した支援の把握と記録が明確にできるように項目別チェックと個別計画表の連動性を図る。 6ヶ月
2	26	職員における利用者個別支援内容の理解。	1ヶ月ごとのモニタリング。	各利用者のモニタリングを各職員で担当割りし記録する。 1ヶ月
3	52	外回りの視覚的環境への配慮を行う。	飾り気のない木製フェンスを利用し目の保養をしていただく。	壁掛け用のプランターをセットし花を飾る。 3ヶ月
4	2	日々の活動を徐々に地域に広げ、安心して暮らせる地域作りと高齢者支援を行い、馴染みの連携体制を構築する。	「いきいきサロン」を開催し利用者に参加して頂き地域の一員となるように交流を図る。	楽しみや生き甲斐創りを地域の方々と話し合い発見しながら、社会参加や社会貢献し、地域の高齢者施設等への慰問を行う。 8ヶ月

5	23	各利用者にとって優先するニーズの改善に努める。	個別に現在、最も優先する課題の一覧表を作成し、ひとつずつ問題を解決していく。	T氏：転倒防止、活動と休息の支援 H氏：ふれあいと休息の支援 I氏：水分補給と活動の支援 O. Y氏：食事摂取の工夫と介助による健康維持 O. K氏：確実な口腔ケアと手指の清潔保持（声かけ確認と手袋タイプのタオル使用） U氏：栄養補給と食事摂取時の対応の工夫 K氏：活動とスムーズな排泄支援 S氏：コミュニケーション能力の維持 M氏：活動と休息のバランス	12ヶ月
---	----	-------------------------	--	---	------

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。